

「みんなで創る明日の希望」

御嵩町立向陽中学校 3年

小栗 菜緒

私たちの社会は、日々の小さな行動や思いやりによって明るくなります。そんな一つひとつの行動が集まり、未来を照らす大きな希望の光になると信じています。私の身近な体験から得た気づきをもとに、社会を明るくする運動について考えたいと思います。

私が住む御嵩町には、毎朝通学路で出会う一人のおじいさんがいます。彼はいつも笑顔で「おはよう」と挨拶してくれます。初めはただの挨拶と感じていましたが、毎日その笑顔に触れるうちに、心が温かくなり、学校へ行く元気をもらえるようになりました。ある日、放課後に歩道に落ちているゴミを拾っているおじいさんを見かけました。声をかけると、「ここはみんなが通るからね」とにこやかに答えてくれました。その言葉に感銘を受けた私は、私もゴミを拾うようになりました。

また、修学旅行で行った東京の駅で見かけた出来事も心に残っています。ベビーカーを押すお母さんが階段で困っていると、一人の若い男性がすぐに駆け寄り、手助けをしました。お母さんは「ありがとうございます」と笑顔で感謝を述べ、その場の雰囲気が一気に明るくなりました。ほんの小さなことだけど、このような小さな親切や思いやりの行動が、社会全体を少しずつ明るくしているのだと感じました。

私たち一人ひとりができることは限られていますが、その積み重ねが大きな力となります。例えば、困っている人を見かけたら手助けする、笑顔で挨拶する、ゴミを拾うなど、日常の中でできる小さな行動です。私も、おじいさんや駅での若い男性のように、周りの人々に笑顔であいさつし、困っている人を見かけたら手助けすることを心がけています。

私たちが日々の小さな行動を続けることで、社会は少しずつ明るくなっていきます。それは、未来への大きな希望の光となるでしょう。私たち一人ひとりが、「社会を明るくする運動」の一環として、笑顔や思いやりを忘れずに過ごすことで、よりよい社会を築いていけると信じています。

「みんなで創る明日の希望」というテーマを通じて、私たちが日常の中でできる小さな行動が、未来の大きな希望へとつながることを強調したいと思います。私たち一人ひとりができることを実践し、そして私たちの小さな行動が誰かに伝わり、その誰かがまた別の人に優しさを伝えることで、連鎖的に社会全体が明るくなっていきます。私たち一人ひとりの努力と協力が、未来の希望を創り出すのです。だからこそ、今日からできることを見つけて実践

し、周りの人々と共に明るい社会を築いていきましょう。みんなで手を取り合い、明日の希望を創り出すために、私たち自身が変わることが重要です。